

廣本 悦子〔会長〕

認定特定非営利活動法人

おかやまエネルギーの未来を考える会（エネミラ）



地球温暖化が深刻な環境破壊を招くと知り、2000年7月に任意団体を立ち上げ（2002年にNPO法人）、今年で10周年を迎えました。会員は現在181名、主婦や公務員、会社員、元教師、元技術者、農業従事者等、さまざまな立場の人がエネミラを支えています。

活動内容は、地球温暖化の主要原因である二酸化炭素を削減することを目指し、自然エネルギーの導入拡大、省エネの推進等に取り組んでいます。

1つは市民共同発電所の設置です。2002年、岡山市と協働し市立中山保育園に5.2kWの太陽光発電設備と太陽熱温水器を設置しました。約530万円の事業費は国の補助金と県内外の方々からの「おひさま基金」への寄付で賄い、不足分は借入金で充当。事後、岡山市からの交付金で借入金を返済しました。これは太陽光発電設備での発電分が岡山市に属し、エネミラには発電分の全量相当が交付金として法定耐用年数の期間（1号機、15年）交付されるという仕組みを作ったためです。



市民共同発電所1号機

2007年には2号機（10kW）を岡山市立錦保育園に設置しました。事業費は約730万円、法定耐用年数は17年です。この

「自治体との協働による市民共同発電所づくり」は2009年、経済産業省の「新エネ百選」に選定されました。

2010年度は3号機を建部町の福渡保育園に設置する予定です。「おひさま基金」へのご協力をよろしく願いいたします。

1号機の設置後、まだ自然エネルギーへの関心が低いことを痛感し、2003年、「自然エネルギー学校」を始めました。2007年までの5年間開校、受講生は高校生・大学生から70代までの150名でした。現在エネミラを支えている主なスタッフはその卒業生のみなさまです。



自然エネルギー学校

2005年、岡山県の委託により県内の小学校10校で「自然エネルギーキャラバン」を実施しました。これは前半に寸劇を上演して温暖化問題を知ってもらい、後半は屋外で太陽光パネルやソーラークッカー、ペレットストーブ、自転車発電機など自然エネルギーグッズを体験するという出前授業です。児童は早速、家庭で使わない照明は消すなど省エネを実践してくれました。

その後、この事業は倉敷市の委託や備前県民局との協働という形で継続し年間10校程度、実施していますが、中心スタッ

フが高齢化してきたことから、このスタイルでの出前授業の先行きが案じられています。



キャラバン

いっしょに活動して下さるスタッフを大募集中です。

他には、公民館への講師派遣や環境イベントへの出展などを年間20～40回程度実施。また、木質バイオマスエネルギーの普及策として木くずを固めたペレットやペレットストーブの導入、太陽エネルギーの有効利用に優れている太陽熱温水器の普及にも努めています。

温暖化対策がますます重要になる一方で組織を継続して運営することは困難が伴うため、一念発起し「認定NPO法人」の申請をしたところ、7月16日付けで国税庁から認定を受けることができました。岡山県で初、中国地方で2番目だそうです。これを機に点から線・面へ、持続可能で低炭素な地域づくりに貢献していきたいと思っています。みなさまのご協力・ご支援をよろしく願いいたします。

廣本 悦子 氏

環境カウンセラー。岡山県地球温暖化防止活動推進員。省エネ普及指導員。中国地域エネルギー・温暖化対策推進協議会委員他。